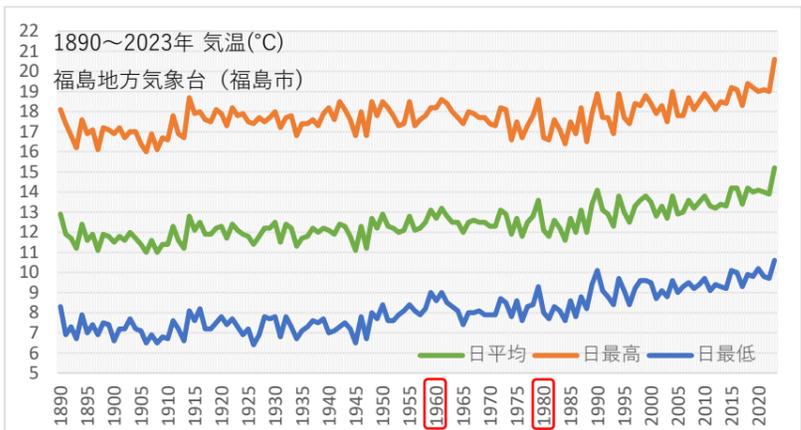


福島県は広く、場所によって気候が大きく異なります。気象の観測は、**浜通り**（小名浜1910年～）、**中通り**（福島1889年～、白河1940年～）、**会津**（若松1952年～）の4か所です。昔から行われてきました。

県内で一番古くから記録が残る福島市の気温の変化をみましょう。1890年から2023年までの133年分の**気温・最高気温・最低気温**の年平均値をグラフにしました。1960年代以降、特に1980年代後半から現在にかけて上昇する傾向が見られますね。



出典：国立国会図書館「写真の中の明治・大正」



年間の**最高気温**の平均値が1番高かったのは20.6°C（2023年）。2番が19.4°C（2018年）、3番は19.2°C（2015, 2019年）です。いずれもここ10年で観測されました。反対に、**最低気温**の平均値が1番低かったのは6.4°C（1926年）。2番は6.5°C（1906, 1908, 1945年）、3番は6.6°C（1900, 1913年）で約100年前に観測されています。



Check!
伊達でeスポーツ

「eスポーツ」は electronic sports（エレクトロニックスポーツ）の略称です。テレビゲームをスポーツ競技として楽しむもので、世界中で大会が開かれています。最近では福島県内でも広がりを見せていて、今年5月には福島市飯坂町でプロチーム「IBUSHIGIN」とゲームスポットが誕生しました。また、福島県立医科大学は高齢者の認知能力への効果について研究しています。



福島県も県内市町村によるeスポーツへの取り組みを支援しています。伊達川東地区協議会（伊達町）は、県の補助を受け、11月23日（土/祝）に伊達市初の「eスポーツ教室」を高齢者向けに開催することにしました。年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、みんなで楽しめるeスポーツ。伊達市内でもぜひ広がってほしいと思います。

（伊達総合支所 伊達市集落支援員 富田 024-583-2111）



伊達川東地区協議会 広報誌「はこぶし」PRキャラ

伊達市市民活動支援センター

〒960-0756 福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑2024年9月から4階に仮移転中です
月～金曜日(年末年始除く) 午前8時30分～午後5時15分
※木曜日は午後7時00分まで
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp http://www.date-civilsupport.jp/
伊達市市民活動支援センターNEWSのバックナンバーはHPからごらんいただけます。



だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センター NEWS



2024 秋号

2024 (令和6) 年 10月 発行 vol.60
企画・編集
伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
↑2024年9月から4階に仮移転中です
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsu-pport.jp
HP: http://www.date-civilsupport.jp/

市民活動 いろは 教えて! だってちゃん

Q. 助成金・補助金はどうすればもらえますか？

A. 相手（助成金・補助金の提供元）のことをよく知ろう。

応募の条件（活動内容や団体特性など）を確認する。募集要項の指示（規格や文字・ページ数、添付資料など）に従って申請書類を作成する。これら基本を押さえたうえで、「自分たちのことをいかにPRするか」が勝負!!...だと思いませんか？

何をしたいのか？そのために何が不足しているのか？助成金・補助金を申請しようという時、自分たちの団体や活動について、他の人にきちんと説明できるようになっていることは大切です。しかし、意外と忘れてしまいがちなのが相手（助成金・補助金の提供元）のこと。どのような人たちが、どのような目的・理由で助成金・補助金を提供しているのか？考えたことはありますか。助成金・補助金を提供する団体は、あなたの活動が

「良い活動だから」支援してくれるわけではありません。多くの場合、そうした提供元の団体も、自ら何らかの社会的課題を掲げ、解決に向けて取り組んでいます。助成金・補助金事業もその一環。募集を通じて、ともにミッションに取り組むパートナーを探しているのです。

どのような社会を目指しているのか？助成金・補助金の募集要項には、提供元の抱く“思い”が記載されていますので、気をつけて読んでおきましょう。また応募書類では、「自分たちの活動が相手（提供元）の希望の実現にいかに関与するものであるか」に言及すると、良い自己PRになります。相手を知る努力が良い結果（マッチング）を生む。人間同士と同じですね。



QRコードから支援センターHP内の紹介ページにアクセスできます。

りょうぜん天蚕の会

伊達市霊山町掛田字明正寺11-7



4 読書の魅力をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを
15 陸の豊かさも守ろう

だてな活動

採卵、飼育、繭加工、糸紬、機織りまで

【活動方針】
霊山の豊かな自然環境を活かし、野蚕である天蚕の育成と、その飼育体験交流や独特な風合いを持つ萌葱色の繭・絹糸の新たな加工や商品化による地域特産品の創成をはかり、活力或る地域づくりを推進する。
また、会員一丸となって繭の生産、新商品の開発に取り組むとともに、小学校等への観察用天蚕配布、県内外天蚕関係者との交流及び展示PR活動を行う。

私たちの会は2005（平成17年）2月に設立されました。今年で活動開始から20周年を迎えます。現在の会員は40余名。地元の愛好家から学識経験者に至るまで、県内外から参加しています。活動では、天蚕（野生のカイコ、ヤマユガ）を飼育し、萌葱色の繭を収穫し、織物、繭の加工品づくりを行います。卵から繭の収穫、糸紡ぎ、機織りまで、一貫した作業を行っている全国でも唯一の団体であると自負しています。

20棟のハウスには飼料樹エゾノキヌヤナギが植生し、例年10,000粒程の卵を山付け（枝に卵を付ける）し、7,000～8,000粒の繭の収穫を目指します。また「天蚕まつり」を開催し、各種製品の展示・販売、コサージュやリースづくりの体験を行っています。藍染めや和紙人形づくりも体験できます。出前講座も行い、子どもから大人まで、作業を楽しむ機会を提供しています。

誇るべき歴史を地域資源に

幕末から昭和に至るまで、伊達市周辺の地域経済は養蚕業で潤いました。誇るべき歴史を、私たちの地域資源として大切にしたい。みなさんも天蚕繭を手で歴史を顧み、地域活性と交流の輪を育みませんか。（024-586-1205 事務局）



2023年7月 繭の収穫、選別

ネコの命を守る会

伊達市梁川町白根

「さくらみみは愛され猫」
出典：公益財団法人どうぶつ基金
https://www.doubutukikin.or.jp/



だてな活動

近所2人で地域ネコ活動

近所の2人で会を立ち上げました。白根地区にはたくさん空き家があります。一人住まいの高齢者も多く、体調の異変など、何かあると家を空けざるを得ない。最近、野良ネコが増えたように感じますが、これまで人と暮らしてきたネコたちが、何らかの理由で身の寄せ場を失い、生きるすべを求めてさまよっているのではないのでしょうか。私も自宅敷地内でネコの母子を見つけ、見過ごせずに餌をやっていたのですが、周囲はネコ好きな人ばかりとも限らず、食べた物で中毒死したり、ハクビシンに襲われる危険もあります。これ以上、不幸が続かないようにするためには、不妊手術しかない。協力者の助けを借り、母ネコと子ネコ計3匹を捕獲。手術を施したうえで元に戻し、地域ネコとして面倒をみています。会を結成したことにより、手術費用に対して市の補助を受けることができました。

野良ネコをなくしたい

飼い主のいないネコに不妊手術をして、一代限りの命をまっとうさせることが、殺処分になるネコを減らし、人間社会と折り合いをつけることに繋がります。手術を受けたネコは、耳先をカットした「さくら耳」にします。「さくら耳」は、その猫に世話する人がついているという、地域ネコの目印でもあります。人間の都合でかわいそうな目に合う動物を少しでも減らしたい。そんな気持ちでネコの母子を見守っています。
(024-577-4136 安藤)



柱沢地区
・人口：1371人
・世帯数：541世帯
(2024年8月末現在)

柱沢地域まちづくり振興会

伊達市保原町所沢字東畑100
柱沢地区交流館

3 すべての人に健康と福祉を
11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナシップで目標を達成しよう

だてな活動

千本桜と柱沢地区

柱沢地区では、紅屋峠千本桜の会（2002年設立）が桜の里親制度を実施して、紅屋峠千本桜森林公園で桜の植樹や保護・育成に取り組んできました。同会は、花見や美化活動を通じて里親の皆さんと交流してきましたが、柱沢地区が桜のスポットとして知られるようになると、それ以外のお客さんも多くいらっしゃるようになりました。地域としての対応を話し合った結果、2023年8月、千本桜の会と地域自治組織（振興会）、消防団や防犯協会、交通安全協会の支部等が参加して、

「紅屋峠千本桜まつり実行委員会」が発足しました。関係団体の取りまとめや市役所との繋ぎ役など、地域の行事を安定かつ持続的に運営していくうえで、振興会は要の役割を果たしています。



振興会主催の「暮らしの保健室」も、柱沢地区ならではの活動です。地区の住民有志が企画して、健康など、身近な話題を専門職の方に提供いただき、参加者が日々の些細な困りごとを解決したり、豆知識を得る場になっています。これまでに看護師や薬剤師、理学療法士はじめ、介護や交通安全、防犯、防災など“その道のプロ”に多数来ていただきました。毎月15名ほどが参加して、普段なかなか聞けないことを専門の方に直接相談し、参加者同士で共有しています。

桜の季節の訪れを心待ちに、毎日の暮らしを楽しみ、心豊かに日々を重ねる。そんな柱沢地区の暮らしを、これからも大切にしていきたいです。
(024-575-0860
柱沢地区交流館)



JAふくしま未来女性部月館総合支部 ゆりの会 ボランティアグループ

伊達市月館町

だてな活動

調理ボランティア

ゆりの会が発足したのは30年以上前のことです。いつの頃からか“調理ボランティア”としての活動が主軸となり、今に至ります。農閑期にあたる11月初旬、月館町内の高齢者世帯を対象に、手作りのお弁当をお届けする活動を長く続けてきました。季節の食材を用いたおかず。ぼたもち。「これから寒くなりますね」。「体に気をつけて」。一軒一軒、お声がけしながら配ってまわり、大変喜ばれました。

調理ボランティアの活動の裾野は案外広く、社協のデイサービスや会食会で腕を振るったり、最近では、月館学園のサポートや、つきだて食堂（子ども食堂）の応援に入ること。今夏は初めて子ども食堂を主催し、夏休み中の子ども達が、自



ら調理ボランティアとなって参加してくれました。

先輩女性の思いを継ぐ

現在、会員は60～80歳代の19名です。役員のなり手不足等の悩みもありますが、新しい会員の参加もあり、1年でも長く続けていきたいと思ひます。そのためにも、手芸や運動など、楽しみや喜びを共有する機会を調理以外にも広げているところです。

私たちが若かりし頃、この会を立ち上げた先輩女性の皆さんの活躍を目にし、尊敬の念を覚えたことを懐かしく思い出します。私たちも、皆で集まって料理の試作をしたり、ボランティアに出たりすることを楽しみながら、それが地域への貢献に繋がっていくようであれば何よりであると思ひます。
(024-586-2111 古川 ※電話番号はJAふくしま未来霊山掛田支店です)



NPO法人 福島障がい者自立支援センター ・スマイルもんも

伊達市岡沼52番1（株式会社 同仁社 第三工場内）

3 すべての人に健康と福祉を
8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう
16 平和と公正をすべての人に

だてな活動

できる限り長く勤められるように

株同仁社（リネンサプライ業等）は、昭和50（1970）年代から障がい者雇用に積極的に取り組んできました。長年お勤めいただいた方も、定年退職を迎えれば慣れた職場を離れざるを得ず、再就職のハードルは高い。そんなケースが現れ始めた平成28（2016）年に当法人を立ち上げ、就労継続支援A型の事業所を開設。会社から転籍してもらうことで、60歳を超えても同じ仕事を続ける道が開かれました。その後、加齢とともに作業効率が低下することを踏まえて、B型の事業所も設置しました。最近では、特別支援学校職場実習で訪れた生徒さんが卒業後に入する



などして、若い仲間も増えてきています。

清潔なリネンが届くまでに

事業所では、主にホスピタルリネン（寝具、病衣など）を扱います。作業の心がけは「自分が使った時に気持ちが良いように」。会社としては機械化を進め、コスト削減をはかる方向にありますが、障がいのある方に訓練の機会を設け、丁寧な仕事を施し、お届け先の皆さんに喜んでいただくのも意義あることだと思ひます。清潔に仕上がったリネンの裏に、頑張る人の存在がある。そう感じていただけたら嬉しいです。

(024-583-3477 佐藤)



【就労継続支援】一般企業に雇用されることが困難であって、
・A型
：雇用契約に基づく就労が可能である者に対して、雇用契約の締結等による就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。
・B型
：雇用契約に基づく就労が困難である者に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行います。

出典：厚生労働省HP